

| 施設機能 | 対象者 (誰のため) | 整備内容 (どのような) | 整備手法 (誰が・どうやって) | 委員 |
|--------|------------------------------------|--|---|----|
| 復興公営住宅 | ・浪江町に帰還する人 | ・復興拠点周辺で用地の確保できる地域から ・酒田住宅、上ノ原町営住宅、雇用促進住宅の住居人に浪江町に帰還する意思を確認して、帰還しない場合、復興公営住宅として整備する | ・役場、その地域の行政区長が一体となって地権者と話し合いをして用地を確保する | 青山 |
| | ・高齢者世帯 → ・低所得者 → ・独居者 → | ・一般入居者と費用以外の差別をしない工夫 ・1ルームでは狭い | ・町が主体性をもって計画できるように事業者働きかける | 柴田 |
| | ・町民全員 ・町内移住希望者 | ・集合住宅形 | ・県指導で | 武藤 |
| | ・まずは老人の帰る希望者のため | ・年寄りの方々が住みやすい形 | ・地域の方々の力を借りて設計施工他 | 伏見 |
| | ・避難者で希望者 | ・標準家族型 ・夫婦型 ・単身型 | ・帰還希望しない家と町が賃貸関係を結んで貸し出す(補修クリーニングも町) | 阿部 |
| 一時滞在施設 | ・利用者 | ・交流施設との兼ね合い | ・設計コンペの実施 | 柴田 |
| | ・町外の人々 | ・ホテル等の形 | ・県と町指導 | 武藤 |
| | ・墓参りの方 ・夏休みなど帰省の方 ・老人と訪ねてくる方 | ・ゲストハウスのような形、数人家族が入れる部屋 | ・地域出身者の方に相談する | 伏見 |
| | ・避難者家族と親類 | ・1泊3食付で格安(ビジネスホテル参考) | ・常磐線より東側のホテル・旅館・アパート(空き室)と契約 | 阿部 |
| 公共施設 | - | ・民間施設の借上げ ・公共施設の改修利用 | ・町行政と町民(利用者)の協議 | 柴田 |
| | ・町民全体 | ・小規模で良い | ・町が | 武藤 |
| | ・住む人 ・訪ねてくる人 ・帰省者のため | ・ふれあいの場 ・お風呂の施設など | ・国、県を動かすことが大事 | 伏見 |
| | ・町に訪れる人全員(予約制) | ・休憩室 | ・役場より任命された人が許可をする | 阿部 |
| 交流施設 | ・利用者 | ・一時滞在施設との併設 | | 柴田 |
| | ・町外、町内全て | ・交流広場 | ・国、県、町 | 武藤 |
| | ・住む人 ・訪ねてくる人 ・帰省者のため | ・家に閉じこもり孤独にならないため ・生きがいを持続させるため | ・地域の方に避難している方々への協力は絶対必要 ・みんなで自分の町の復興に力を注ぎたい ・役所と一体となって動かしたい | 伏見 |
| | ・町に訪れる人全員(予約制) | ・室外施設も可能な限り含める | ・目的に応じ整備 | 阿部 |
| 商業施設 | ・浪江町に帰還する人 | ・既設の設備で病院、宿泊施設など業務再開するか確認 | ・役場から経営者に確認する | 青山 |
| | ・利用者 → ・事業者 → | ・複合施設 ・団地化 | ・商工会などの組織強化 | 柴田 |
| | ・帰町町民 | ・モール形式 | ・帰町企業 | 武藤 |
| | ・住む人のため ・帰省の人のため ・訪問者のため | ・しばらくは他町村の商業を利用させていただいても、みんなで自分の町の復興に力を注ぎたい | ・地域の方に避難している方々への協力は絶対必要 | 伏見 |
| | ・町に訪れる人全員(予約制) | ・セブンイレブンのような施設が基準 ・移動販売車 | ・町の経験者中心で検討 | 阿部 |
| 産業機能 | ・廃炉作業従事者に町内に立地してもらう | ・立地計画を図面化し誘致する | ・早急に打診 | 柴田 |
| | ・浪江に戻った人のために | ・ソーラー、風力発電など津波地域に誘致する | ・役所と一体となって動かしたい | 伏見 |
| | ・町に訪れる人全員(予約制) | ・新しい産業も積極的に交渉(プロジェクトを組む) | ・中規模以上の産業は常磐線より西側が中心で検討 | 阿部 |